

4 駅（千船駅、姫島駅、塚本駅、御幣島駅）で行動。署名 53 人・ハガキビラ 400 枚配布！御幣島駅では青年が中心にシール投票。「憲法を変える、変えない」では、「変える」0 人、「わからない」1 人、「変えない」4 人でした。対話では「将来のこと、生きていけるか心配。妹が高校生だから高校生向けのもください」とチラシ全種類持って帰った高卒新社会人。若い看護師は「西淀病院で働いていて職場で勉強する中で改憲だめだと思うようになった」と話しました。

河内長野 15 区市民連合の 4.5 森友疑惑徹底糾明、安倍内閣退陣緊急行動に 150 人

4 月 5 日午後 5 時から中村池公園で行動。緊急のよびかけにもかかわらず 15 区内から 150 人を超える参加者。自由党サポーター、前南河内教組委員長、地元の日本共産党市議等参加者から発言。特に怒りと共感を呼んだのは近畿財務局 0B の発言。「闇の中での前代未聞の不正に、近畿財務局幹部 0B も『そこまでやるのか』と驚いている。首相や夫人からの働きかけ、日本会議や維新の会議員の関与などの経緯全てが削除されており、『安倍事案・昭恵案件』が近畿財務局内でも常識となり特別な対応、処理が行われたことを裏付けるもの」と話しました。集会後参加者は河内長野駅前まで怒りのパレードを実施。引き続き駅前で 60 人余りの参加者でリレートーク・大宣伝を行いました。

羽曳野絵がかり行動 若い力に勇氣 100 倍

4 月 8 日、南恵我ノ荘の振興住宅地 300 戸に訪問大作戦を実施しました。若い日保育士さん 8 人を含む 24 人が参加。

「安倍のやってることには腹が立ってしょうがない」「孫の時代がとても不安」など 102 名分の署名を集めました。若い保育士さんたちが勇氣を出して花見の人にも訴え署名を集めるなど、その行動力に参加者全員が元気をもらいました。

八尾憲法連 若い人も駆けつけ対話がすすむ

4 月 9 日、9 条改憲 NO アクションは JR 久宝寺駅でしました。16 人参加で、リーフ 200 枚、署名は 68 人がしてくれました。若い保育士さんも駆けつけて、対話がすすみ、もっと知りたいという大学生も。二人が初スピーチをしました。



各地のとらきみ

愛知 秘密法と共謀罪に反対する愛知の会 6 周年総会と記念講演会

秘密法と共謀罪に反対する愛知の会は 8 日、6 周年総会と記念講演会を名古屋市東区で開きました。歴史に学ぼうと 200 人が参加しました。

「治安維持法と共謀罪」と題し内田博文九州大学名誉教授が記念講演しました。戦前の治安維持法や軍機保護法、国防保安法の制定経緯を説明。ここ数年で制定された特定秘密保護法、安保法制、共謀罪などと比較し、「状況はよく似ているが、現在の方が速いスピードで制定されている」と指摘しました。一方で、「戦前と異なり、日本国憲法のもとで共謀罪などの悪法に反対する権利が保障されている。共謀罪が違憲だと訴訟もできる。戦前の反省にもとづいてつくられた憲法の保障する権利を宝の持ち腐れにしてはいけない」と強調しました。

名古屋市の原夏子さんは、父親の新村猛氏（初代広辞苑編集者）が治安維持法で逮捕され、「家族も大きな被害を受けた」と報告。現代の共謀罪について「強い不安がある。治安維持法よりも桁違いで悪い法律だ」と話しました。



総会では、戦争できる国づくりを許さず、安倍政権の明文改憲を阻止する広範な運動と連携すること、秘密保護法と共謀罪法を廃止させる運動とともに、実質的に発動させない運動を強めることなどが確認されました。

共同代表の中谷雄二弁護士が閉会あいさつで、「いまできることをやらないで、あとになって私たちは騙されたとは言えない。できることがあるうちにたたかおう」と行動提起しました。

長野 「ピースアクション望月」毎週日曜日 3000 万人署名をもって訪問活動

長野県佐久市で毎週日曜日、「ピースアクション望月」が安倍 9 条改憲ノー 3000 万人署名をもって訪問活動をしています。



署名行動のまとめ会の様子

8日には地域のコミュニティーセンターに9人が集合。地図やチラシ、署名板・用紙を荷台に積んだ、事務局の石橋貴雄さんの軽トラックを囲んで、打ち合わせをして出発です。

訪問先では『憲法を変えるの、お断り』の署名を集めています」と告げると、女性はすぐに「いいですよ」と応じました。この人は運動の際、佐久平駅近くで毎週スタンディングしているのを見て「気にしていたんです」と述べ、子どもや孫が戦争に巻き込まれるのはごめんだと語りました。署名した高齢男性に、小学生の孫が「おじいちゃんは反対なの」と話しかけ、男性が戦時中のひもじい経験を語る場面もありました。「出征した主人は…」と体験を語り署名に応じた高齢女性。「頼まれていた署名は、集めておいたから」と差し出す女性もいました。

昼までの行動で、3000 万人署名とヒバクシャ国際署名が 88 人分集まりました。

ピースアクション望月は今年 2 月、もちづき 9 条の会がよびかけて発足しました。署名を呼びかけるチラシには呼びかけ人 29 氏の名前を記載。合併前の旧望月町（有権者約 8000 人）で 2000 人が署名目標です。毎週日曜日の訪問地域には前日に宣伝カーを運行し、「明日、署名にうかがいます」と案内しています。

これまでに集めた署名は 1480 人です。石橋さんは「目標まであと 4 分の 1。4 月中にやりきりたい。地域で『改憲ノー』を示し続けることが、大きな流れに結集する力になる」と語りました。

兵庫 全県 80 駅頭いっせい 3000 万人署名宣伝

憲法改悪ストップ兵庫県共同センターと、自治労や兵教組などでつくる「戦争をさせない 1000 人委員会・ひょうご」、そして 9 条の心ネットワークが共同する「戦争させない、9 条壊すな！ 5・3 総がかり行動兵庫県実行委員会」は 9 日夕、全県 80 駅頭いっせい 3000 万人署名宣伝をしました。

三宮駅周辺では、憲法共同センターの加盟団体が各所で、1 万人を参加目標にした兵庫憲法集会を案内しつつ、3000 万人署名を呼びかけました。

津川和久代表は、防衛省の日報隠しや財務省の文書改ざんなどの一方、労働法制改悪、9 条改悪、カジノを進めようとする安倍政権を批判。「自ら責任をとらないなら、主権者からやめてくれと声をあげよう」と訴えました。

「憲法が変わると戦争に走る気がします。周りが和解の方向に進んでいるのに、日本だけが戦争をしようとしているようです」という神戸市の高校 3 年生の男女や、「とにかく戦争をしてほしくない」という男性（21）、「安倍さんは早くやめてほしい」と署名する女性がいました。

14 日の全国各地での集会・行動を成功させましょう！

12 日夕の森友・加計疑惑徹底追及と、安倍内閣の総辞職を求める抗議行動は、1200 名の参加で行われ、「安倍やめよ」とコールしました。14 日には、国会正門前では 14 時から公文書改ざんの真相究明と安倍内閣の総辞職を求める大抗議行動が行われるなど、全国各地で集会・行動が実施されます。その成功に向け、奮闘しましょう。